2024 年 12 月 5 日

報道関係各位

株式会社ＯＫＢ総研

「ＯＫＢ景況指数」2024 年 12 月期調査報告

ＯＫＢ グループのシンクタンク（株）ＯＫＢ総研（大垣市郭町 2-25 社長 青木　義実）は、３ヵ月ごとに「ＯＫＢ景況指数」を公表しております。このたび、2024 年 12 月期調査報告を取りまとめましたのでご案内します。

調査結果要旨

景気の水準	景気全般は▲4.4（前回比▲0.3）とほぼ横ばい。生産活動は自動車関連を中心に回復傾向。一方、個人消費は物価上昇に賃上げが追いつかず節約志向が強まる。
景気の方向	３ヵ月後の景気は悪化を予想。個人消費および企業収益の減少を見込む。

追加調査	今年の猛暑による地域経済への影響は、「かなり影響がある」が 6.1%、「ある程度影響がある」が 63.4%。特に、「農業」で『マイナスの影響』が 81.1%と深刻。一方で飲食のみ『プラス』が『マイナス』を上回った。猛暑による影響で設備投資や働き方調整を行う企業も一定数みられる。

ＯＫＢ景況指数 とは・・・

ＯＫＢ大垣共立銀行の支店長を対象に３ヵ月ごとに調査を実施
東海３県にある**ＯＫＢ大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。
県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計
「名古屋」、「西尾張」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景気水準を表す指標**を公表している。 （注）東海３県の当該県域全体を対象としていない(OKB 大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋証券取引所・金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：ＯＫＢ総研 調査部 中澤・梅木　TEL: 0584-74-2615 FAX:0584-74-2688】

地域の景況を見る

ＯＫＢ景況指数（２０２４年１２月期調査報告）

調査概要

（１）調査対象　東海３県にあるOKB大垣共立銀行の支店長および法人営業部担当者（112名）
（２）調査内容　調査時点の景気水準および３ヵ月後の景気の方向
（３）調査方法　2024年11月上旬に調査票を配付し、11月下旬までに回収

調査結果

景気の水準： 景気全般は▲4.4（前回比▲0.3）とほぼ横ばい。生産活動は自動車関連を中心に回復傾向。一方、個人消費は物価上昇に賃上げが追いつかず節約志向が強まる。

景気の方向： ３ヵ月後の景気は悪化を予想。個人消費および企業収益の減少を見込む。

	景気の水準（2024年12月期）	景気の方向（3ヵ月後見通し）
全地域	・景気全般は▲4.4（前回比▲0.3）と前回調査からほぼ横ばい。	・▲4.1と「悪化」超
	（支店長コメント） 自動車関連など製造業は認証不正問題の影響で一時期不振ではあったものの、足元では回復傾向にある。物価上昇に賃上げが追いついておらず、消費を控える動きが顕著。	
県別	・愛知県は0.0（前回比▲4.8）、岐阜県は▲6.1（同+4.3）。	・愛知県は▲2.8と「悪化」超 ・岐阜県は▲5.6と「悪化」超
	（支店長コメント） ・愛知県では、自動車および半導体関連の受注や見積の引合いが増加し、前年を上回る企業もあるが、大半の企業は円安と原材料等の物価高を背景とした仕入価格等の価格転嫁が進まず、収益状況は依然として厳しい。 ・岐阜県では、建設業および建材卸売業は業績が伸び悩んでおり、運送業も人手不足・燃料高に苦しんでいる。暖冬の影響によりアパレル業界全般の消費が落ち込んでいる。	
地域別	・東尾張、西尾張など5地域で前回調査から低下。一方、西濃、三河など4地域は前回から上昇。	・**「良化」超**　三河 ・**「悪化」超**　東尾張、西尾張、西濃、東濃・可茂
	（支店長コメント） **【三河地域】** 認証不正問題も一段落したことから、自動車関連部品を中心に生産活動は回復傾向。人気車種を取り扱う企業は大幅な増収を見込んでいる。一方、EVはじめ新型車は開発に遅れが生じており、改善はすぐに見込めない状況。 **【東濃・可茂地域】** 地場産業である陶磁器業界においては、インバウンド需要は高いが、一般個人向けは振るわず。輸出についても主力の中国向けが回復しておらず。コロナ収束後、需要が持ち直してきていたがここにきて低迷。	
項目別	・「全地域」を項目別に見ると、「個人消費」は▲9.2（前回比▲5.7）と前回から低下。一方、「生産活動」は0.9（同+4.4）と前回から上昇。	・**「増加」超**　「資金需要」 ・**「減少」超**　「個人消費」、「設備投資」、「企業収益」、 ・**「不足」超**　「雇用」
	（支店長コメント） **「個人消費」**：スーパーでは売上金額面では横ばい推移だが、物価上昇分が吸収できておらず来店客数、客単価ともに減少傾向。物価高による値上げから節約志向にシフトしている。 **「生産活動」**：自動車関連はメーカーの認証不正による生産・出荷停止の影響が徐々に薄まってきているが、EV 問題の不透明感もあり二次、三次下請けの受注回復には依然時間を要す。 **「設備投資」**：設備老朽化による買換えはあるが、設備増強の動きはまだ少ない。今後の先行き不透明感はどの業種も持っており、金利上昇懸念もあることから積極的な設備投資の動きは感じられず。 **「企業収益」**：値上げ交渉に踏み切り成功している企業は売上増収トレンド。一方で原料高騰、為替、金利上昇等、収益を圧迫する要因は多く、大部分の企業収益は減少している印象。 **「雇　　用」**：全般的に不足傾向にある。一方、建設業の中でも外国人の積極採用、社内体制見直し、SNS 活用等による若手社員採用に至っている企業もある。	

＊（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。

②「景気の方向」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方向」を示す指数。

各指数は、最高点が 100、最低点が▲100 となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100 を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表１　ＯＫＢ景況指数「景気の水準」（2024年12月期）

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）	今期水準（前回比）
名古屋	5.3（▲5.3）	0.0（▲5.3）	10.5（+18.4）	18.4（+2.6）	5.3（▲5.3）	7.9（▲10.5）	81.6（+7.9）
東尾張	▲ 3.7（▲9.3）	▲ 11.1（▲11.1）	0.0（+1.9）	0.0（▲14.8）	▲ 14.8（▲22.2）	3.7（+3.7）	61.1（▲11.1）
西尾張	0.0（▲6.3）	0.0（▲6.3）	0.0（+6.3）	0.0（+3.1）	▲ 16.7（▲4.2）	▲ 16.7（▲1.0）	73.3（+1.5）
三河	0.0（+9.1）	▲ 22.7（▲13.6）	18.2（+18.2）	0.0（+9.1）	18.2（+27.3）	18.2（0.0）	81.8（+4.5）
岐阜	▲ 3.8（+2.6）	▲ 7.7（0.0）	2.6（▲9.0）	▲ 3.8（0.0）	▲ 14.1（+3.8）	▲ 24.4（▲7.7）	71.8（▲3.8）
西濃	▲ 7.4（+13.0）	▲ 13.0（0.0）	5.6（+24.1）	▲ 7.4（+1.9）	▲ 13.0（+1.9）	▲ 7.4（+16.7）	79.6（+3.7）
東濃・可茂	▲ 10.0（+5.0）	▲ 7.5（▲5.0）	▲ 10.0（▲2.5）	▲ 15.0（▲2.5）	▲ 25.0（▲2.5）	▲ 25.0（+5.0）	55.0（0.0）
飛騨・郡上	0.0（▲30.0）	▲ 25.0（▲45.0）	▲ 50.0（▲50.0）	25.0（+35.0）	0.0（0.0）	▲ 50.0（▲30.0）	100.0（+10.0）
桑名・四日市	▲ 28.6（▲14.3）	▲ 14.3（0.0）	▲ 14.3（0.0）	14.3（+28.6）	▲ 28.6（▲14.3）	▲ 14.3（▲14.3）	64.3（▲14.3）
愛知県(4地域)	0.0（▲4.8）	▲ 7.6（▲9.0）	5.6（+9.7）	4.9（▲2.7）	▲ 4.9（▲6.2）	2.8（▲1.3）	72.2（▲1.1）
岐阜県(4地域)	▲ 6.1（+4.3）	▲ 10.0（▲3.4）	▲ 1.7（+0.5）	▲ 6.1（+1.6）	▲ 15.6（+1.5）	▲ 20.6（+1.4）	71.7（▲0.3）
三重(1地域)	▲ 28.6（▲14.3）	▲ 14.3（0.0）	▲ 14.3（0.0）	14.3（+28.6）	▲ 28.6（▲14.3）	▲ 14.3（▲14.3）	64.3（▲14.3）
全地域	▲ 4.4（▲0.3）	▲ 9.2（▲5.7）	0.9（+4.4）	▲ 0.6（+0.9）	▲ 11.5（▲2.5）	▲ 10.4（▲0.4）	71.6（▲1.2）

（＊１）各項目の「今期水準」は５つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。
例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に０ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲１ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。
各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

（＊２）（）内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

（＊３）雇用は「不足－過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表２　ＯＫＢ景況指数「景気の方向（３ヵ月後見通し）」（2025年3月期見通し）

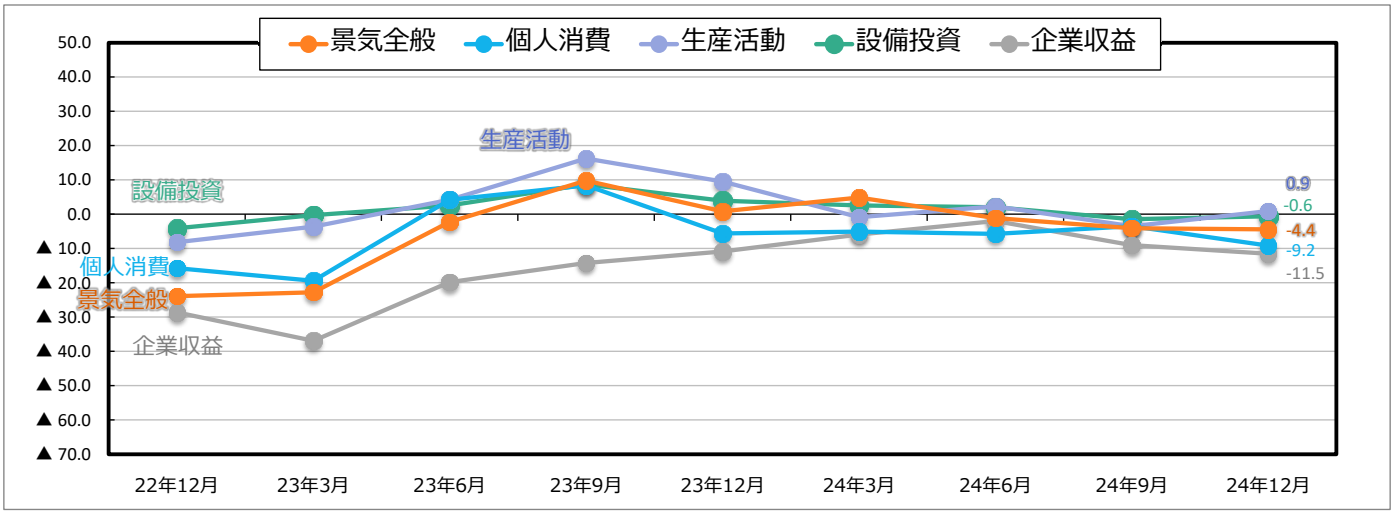
（単位：%ポイント）

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」－「悪化」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「不足」－「過剰」
名古屋	0.0	0.0	15.8	15.8	10.5	5.3	31.6
東尾張	▲ 7.4	▲ 11.1	▲ 3.7	▲ 7.4	▲ 3.7	▲ 3.7	29.6
西尾張	▲ 13.3	▲ 6.7	6.7	6.7	13.3	0.0	40.0
三河	18.2	▲ 18.2	18.2	0.0	18.2	18.2	54.5
岐阜	0.0	0.0	▲ 2.6	2.6	▲ 12.8	2.6	28.2
西濃	▲ 14.8	▲ 18.5	0.0	▲ 14.8	▲ 25.9	0.0	40.7
東濃・可茂	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 20.0	0.0	▲ 15.0	0.0	20.0
飛騨・郡上	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	50.0
桑名・四日市	0.0	28.6	0.0	0.0	▲ 42.9	0.0	42.9
愛知県(4地域)	▲ 2.8	▲ 8.3	6.9	2.8	6.9	2.8	36.1
岐阜県(4地域)	▲ 5.6	▲ 6.7	▲ 5.6	▲ 3.3	▲ 18.9	1.1	31.1
三重(1地域)	0.0	28.6	0.0	0.0	▲ 42.9	0.0	42.9
全地域	▲ 4.1	▲ 5.9	0.0	▲ 0.6	▲ 8.9	1.8	33.7

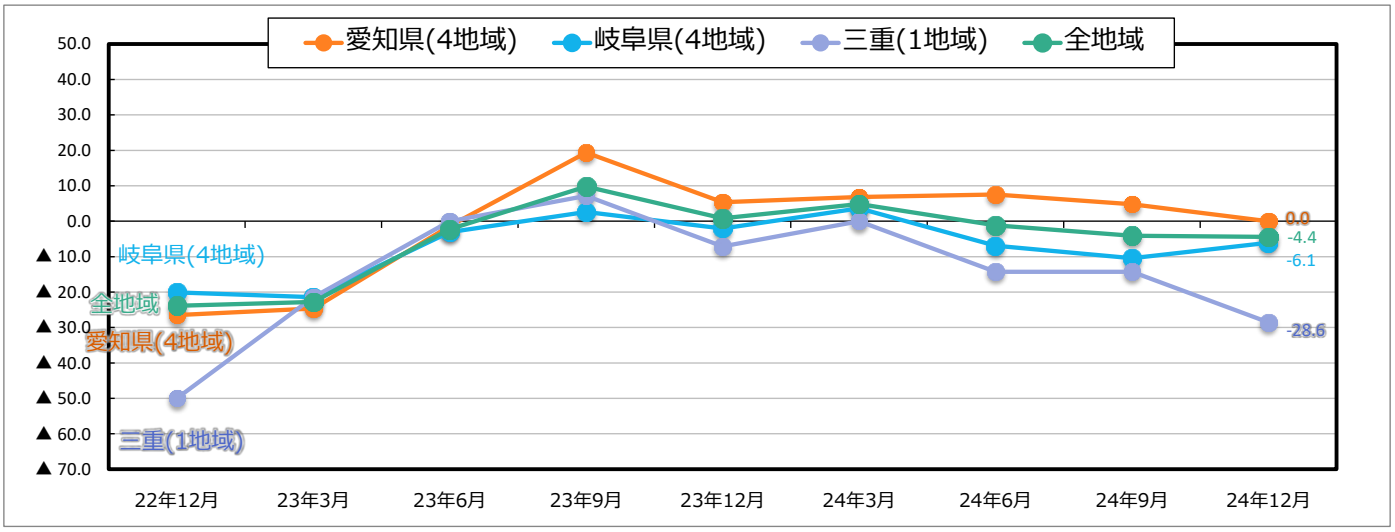
（＊）景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合（%）－「悪くなりそう」と回答した割合（%）
他の６項目は、3ヵ月後には今より「増えそう（不足しそう）」と回答した割合（%）－「減りそう（過剰となりそう）」と回答した割合（%）
「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

「景気の水準」の推移

■項目別（資金需要、雇用を除く）

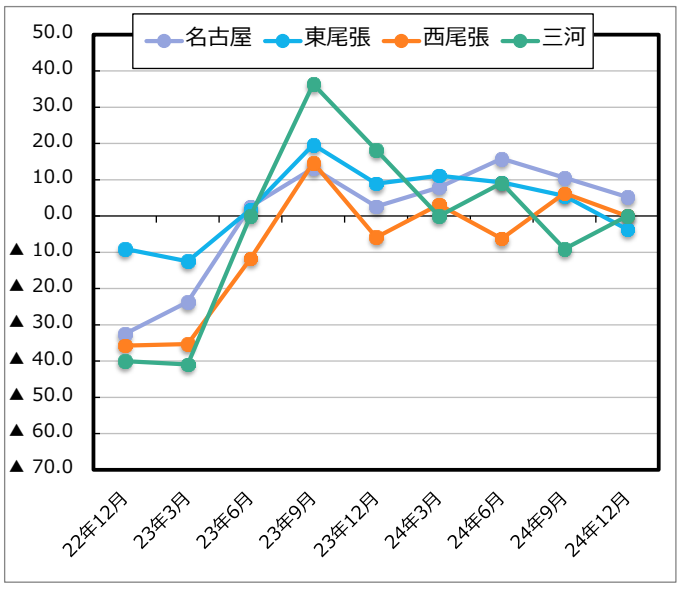


■県別（景気全般）

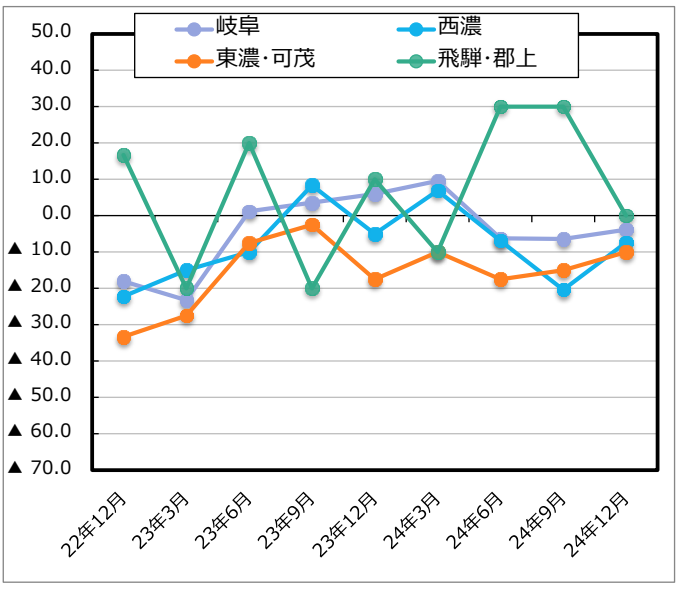


■地域別（景気全般）

①愛知県内



②岐阜県内



追加調査１

「今年の猛暑による地域経済への影響」

今夏の猛暑による地域の経済活動への影響について尋ねた。

今年の猛暑による地域経済への影響は、「かなり影響がある」が 6.1%、「ある程度影響がある」が 63.4%。特に、「農業」で『マイナスの影響』が 81.1%と深刻。一方で飲食のみ『プラス』が『マイナス』を上回った。猛暑による影響で設備投資や働き方調整を行う企業も一定数みられる。

①今年の猛暑が地域全体の経済活動へ与えた影響について、「かなり影響がある」が 6.1%、「ある程度影響がある」が 63.4%に上り、多くの企業が暑さの影響を受けたことが伺える。

②特に農業では『マイナスの影響』が 81.1%と、他業種を大きく上回る。一方、飲食業では『プラスの影響』（28.3%）が『マイナスの影響』（23.5%）を上回っている。その他の業種では『マイナスの影響』が優勢だった。

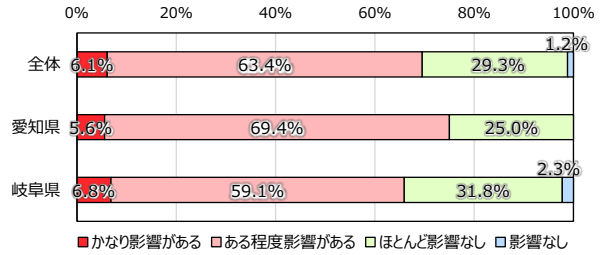
③猛暑は労働生産性にも影響を及ぼしており、「かなり影響がある」が 7.1%、「ある程度影響がある」が 69.4%という結果となった。

④気温上昇対策としての設備投資については、「多くの企業が行っている」が 7.1%、「一部企業が行っている」が 64.7%となった。

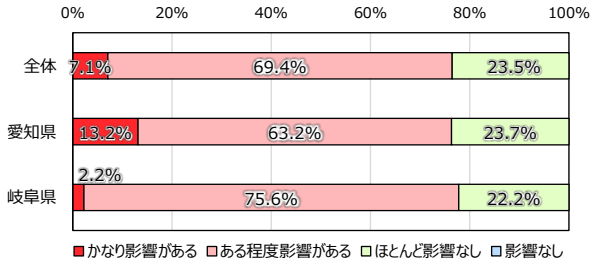
⑤暑さ対策としての健康管理・働き方調整などの取り組みについては、「多くの企業が行っている」が 8.2%、「一部企業が行っている」が 51.8%となった。

今年の猛暑により、農業の作物不振や建設業をはじめ休憩時間確保などによる作業短縮が深刻化。一方、冷菓や空調関連は好調。空調服や断熱・遮熱対策といった労働環境の改善や、健康管理としてクールタイムや勤務時間の調整などで対応する企業が一定数みられる。

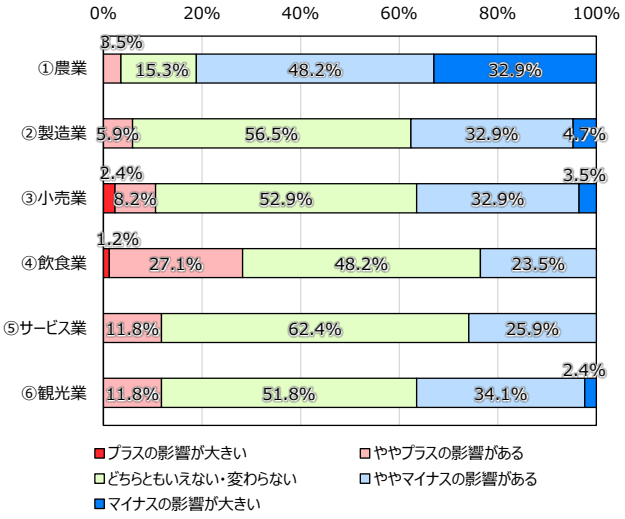
①地域の経済活動への影響



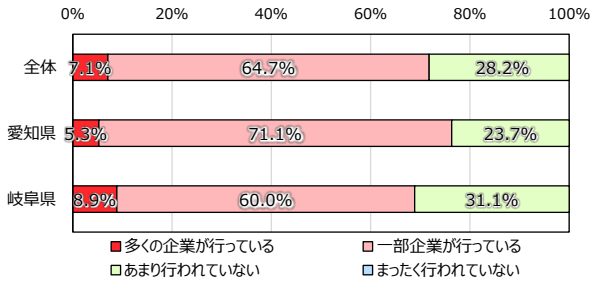
③猛暑が地域企業の労働生産性に及ぼす影響



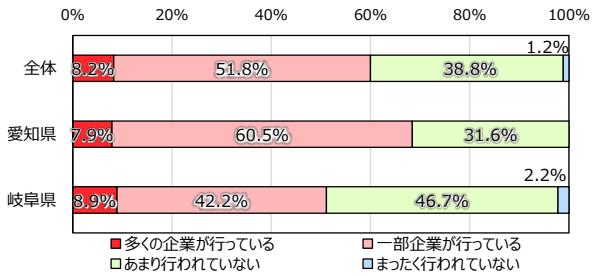
②猛暑による各業種の企業業績への影響



④気温上昇対策としての設備投資



⑤暑さ対策としての健康管理・働き方調整などの取り組み

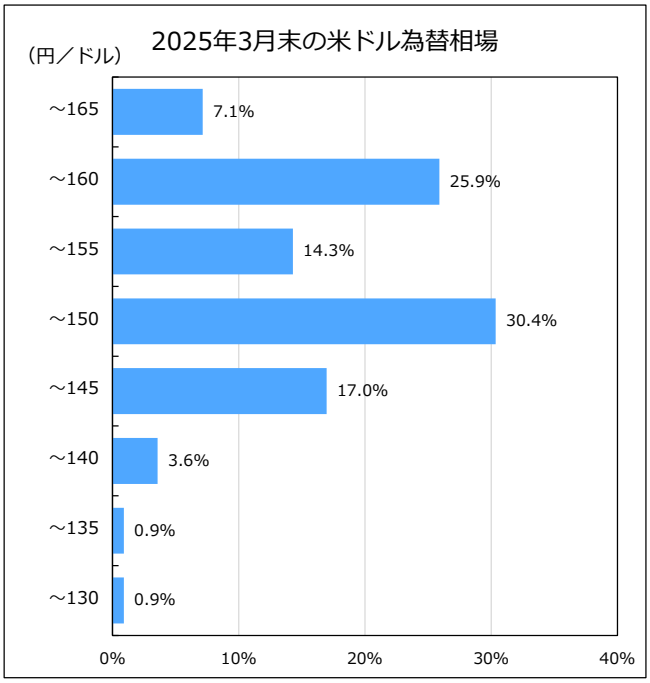


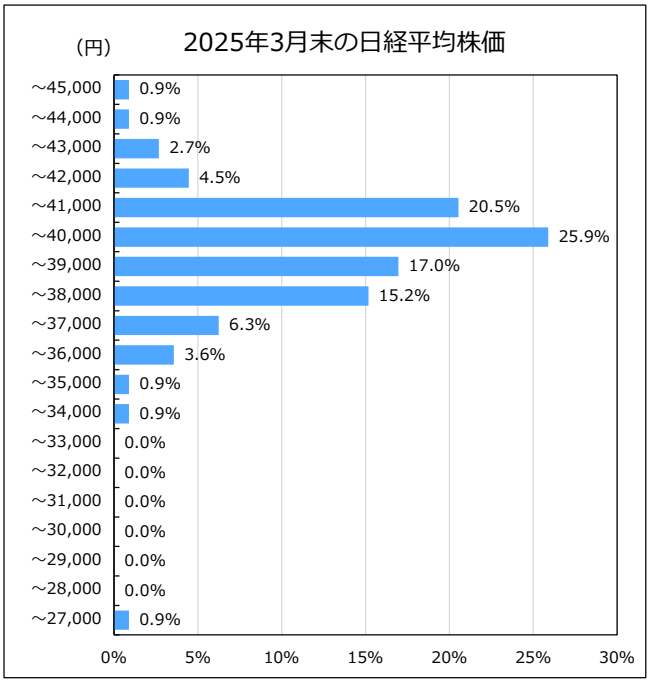
追加調査 2

「2025 年 3 月末の米ドル為替相場・日経平均株価」

2025 年 3 月末の相場予想の平均は、トランプ次期政権の経済政策により円安と円高の両方の可能性があるとの見方から、米ドル為替相場は 1 ドル＝151.48 円となった。
日経平均株価の予想平均は 39,222 円だった。

2025 年 3 月末の為替・株式の予想を尋ねたところ、米ドル為替相場の予想平均は 1 ドル＝151.48 円、日経平均株価の予想平均は 39,222 円だった。米ドル為替相場は、トランプ次期政権の経済政策により円安と円高の両方の可能性があるとの見方から、「140 円超 160 円以下」を予想する声が多い。日経平均株価は、米国の堅調な株価推移や好調な国内企業業績から、「37,000 円超 41,000 円以下」を予想する声が多い。





2025年3月末の米ドル為替相場　（円／ドル）

	全体	愛知	岐阜
平均値	151.48	151.54	151.61
最大値	165.00	165.00	165.00
最小値	130.00	140.00	130.00
最頻値	145.00	145.00	150.00
中央値	150.00	151.28	150.00

（ご参考）

2024年11月相場（円/ドル）	
月中高値	156.74
月中安値	149.46
月末時点	149.75

出所：Refinitiv

2025年3月末の日経平均株価　（円）

	全体	愛知	岐阜
平均値	39,222	39,036	39,290
最大値	45,000	45,000	43,000
最小値	26,000	26,000	35,000
最頻値	40,000	39,000	41,000
中央値	39,500	39,000	39,600

（ご参考）

2024年11月相場（円）	
月中高値	39,884.01
月中安値	37,801.62
月末時点	38,208.03

出所：Refinitiv

・予想コメント

円安要因（一部抜粋）
トランプ次期政権の経済政策によるインフレ再加速
トランプ次期政権への政策期待
米長期金利の高止まり
日米金利差拡大
円高要因（一部抜粋）
日銀の利上げ観測
FRBの利下げ観測
日米金利差縮小
トランプ次期大統領のドル安志向による円安是正

・予想コメント

上昇要因（一部抜粋）
米国の堅調な株価推移
円安の進行
好調な企業業績
輸出関連企業の収益改善
下落要因（一部抜粋）
トランプ次期政権の関税引き上げによる国内輸出関連企業への影響
日銀の利上げ観測
中国と米国の関係悪化による世界景気の低迷
円高の進行

以　上